

研究授業②

<単元名> 生活科「生きもの なかよし 大作せん」

<単元の目標>

生き物を探したり飼育したりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、それらが成長していることや、生命をもっていることなどに気付くとともに、生き物への親しみをもって、生き物を大切にしようとすることができる。

<学習の様子>

グループごとに、自分たちで選んだ生き物のえさやすみかなどを調べて、お世話をした。「人に見られることがあまり好きではないから、静かにお世話したらよいのかもしれない…」と生き物の気持ちを考えることができた。



<成果と課題>

- 育てる生き物を自分たちで選択させることで、意欲的に生き物の世話をすることができた。
- 組織マネジメントの工夫により、それぞれが調べたいことを追究できる学習環境をつくった。生活科の時間を学年で揃えたり、図書室の利用もできるようにしたりすることで、学年の担任、司書教諭の誰にでも相談することができ、学びが深まった。
- グループによって進度に差がうまれた。自ら学習する態度を育てるために、児童に委ねる部分を増やしたいが、実態に応じて、教師の支援も必要であると感じた。

いきものなかよし大作せん!				
とりくむこと	メンバー	しごと	と中	かんせい
グループの集まり	かまひめなげ	コーナー 9月 日にかんせい 発表が、各組 グループのゴール		